

24卒調査資料

9月実施学生調査版

24採用学生の  
夏インターンシップ参加実態と  
今後の展望

WORKS JAPAN



# 24卒学生の就職活動における 行動調査・意識調査を実施

本資料に掲載されている各種データは、特記なき限り、下記の調査に基づいています。

■ 調査内容：キャンパスキャリアに登録会員学生（24卒の大学4年、大学院2年）に対し、就職活動についてのアンケート調査を実施

■ 調査実施期間：2022年9月23日（金）～2022年9月30日（金）の8日間

■ 調査対象：キャンパスキャリア会員のうち、2024年卒業予定の3年生及び院2年生

◇ アンケート対象大学

東京大学、一橋大学、東京工業大学、早稲田大学、慶應義塾大学、明治大学、青山学院大学、立教大学、中央大学、法政大学、学習院大学、上智大学、お茶の水女子大学、東京学芸大学、東京外国語大学、横浜国立大学、横浜市立大学、千葉大学、筑波大学、埼玉大学、津田塾大学、成蹊大学、日本女子大学、首都大学東京、東京理科大学、芝浦工業大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、関西学院大学、関西大学、同志社大学、立命館大学、大阪府立大学、大阪市立大学 等

■ 調査方法：2022年9月23日時点のキャンパスキャリア会員にメール配信  
Web上のアンケートフォームより入力

■ 有効回答数：387名

※ 調査結果は、四捨五入等によりグラフおよび表の和が100%にならない場合もございます。予めご了承ください。

■ 文理比：文系203名（52%） 理系184名（48%）

■ 男女比：男性201名（52%） 女性172名（44%） 回答しない14名（4%）

## 24卒学生の動きについて

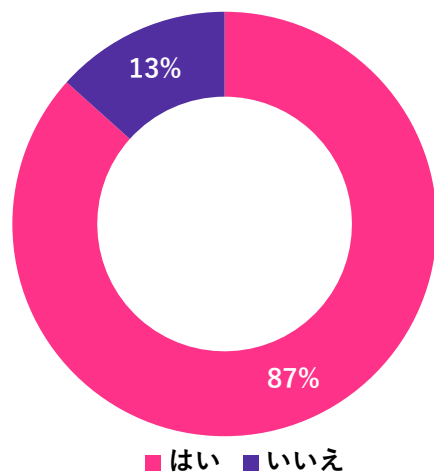
POINT

01

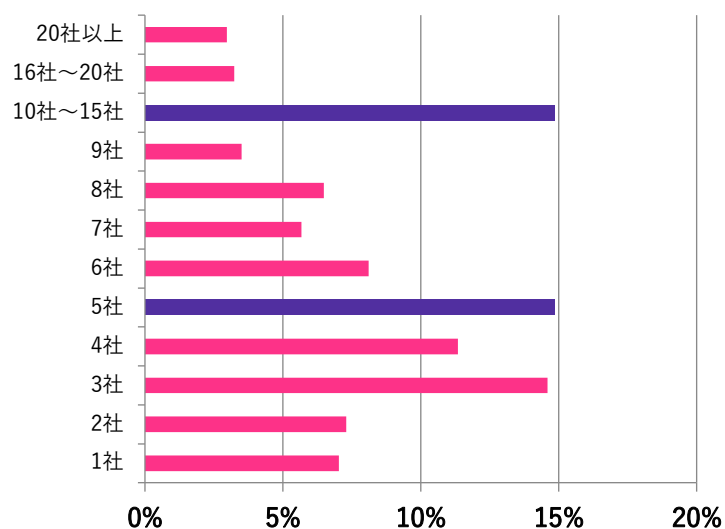
## 昨年同様9割近くの学生がインターンシップに参加 参加社数は5社以上の回答が5割を超える

ほぼ全ての学生が「就活のスタート」として夏インターンシップに参加。  
複数社参加することで業界研究を進めていく学生が多い。

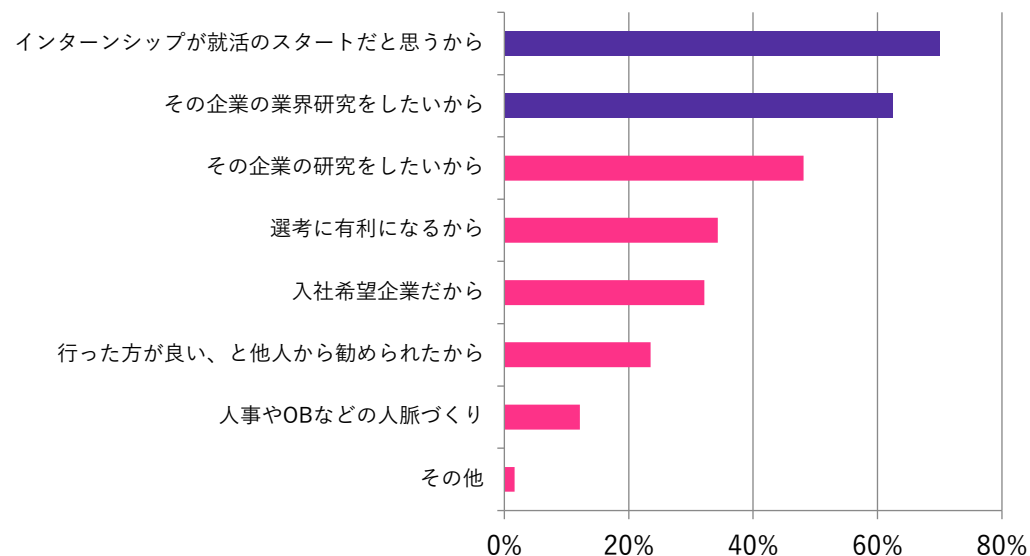
2022年6月～9月に開催された  
インターンシップに参加しましたか。



2022年6月～9月で参加した  
インターンシップの数を教えてください。



2022年6月～9月のインターンシップに  
参加した目的は何ですか。 ※複数選択可



参加した社数のボリュームゾーンは5社と10～15社と分かれる結果になっており、学生の意識にもばらつきがあると考えられる。  
ただ夏インターンシップをきっかけに企業・業界のことを知るという動きは共通していると言える。

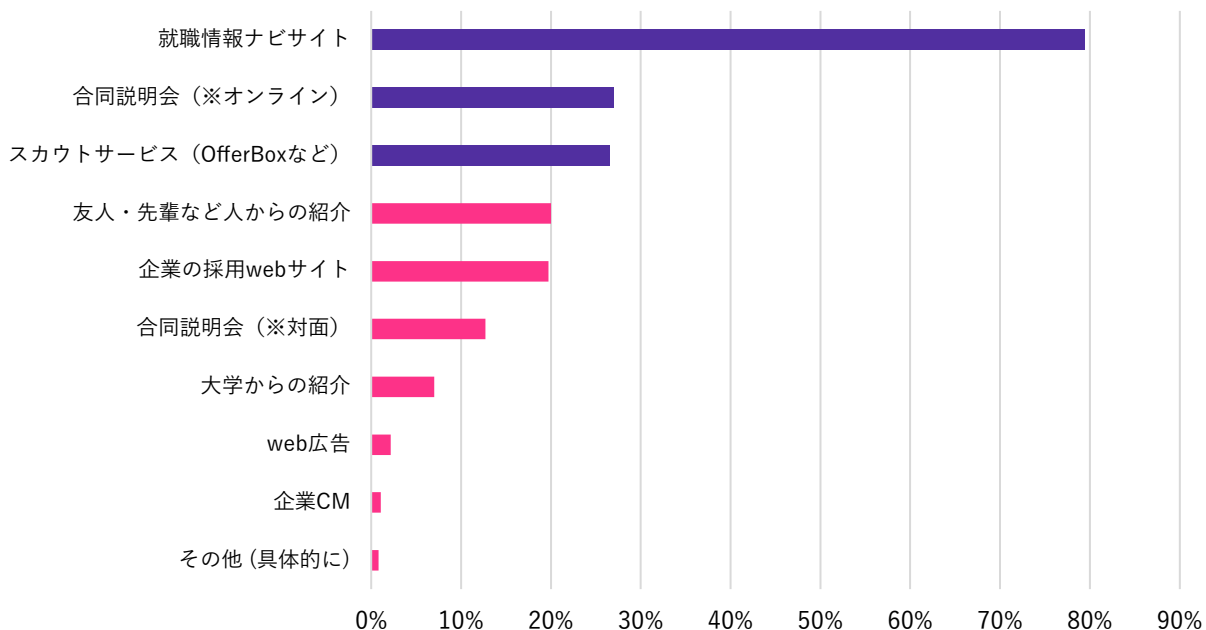
POINT

02

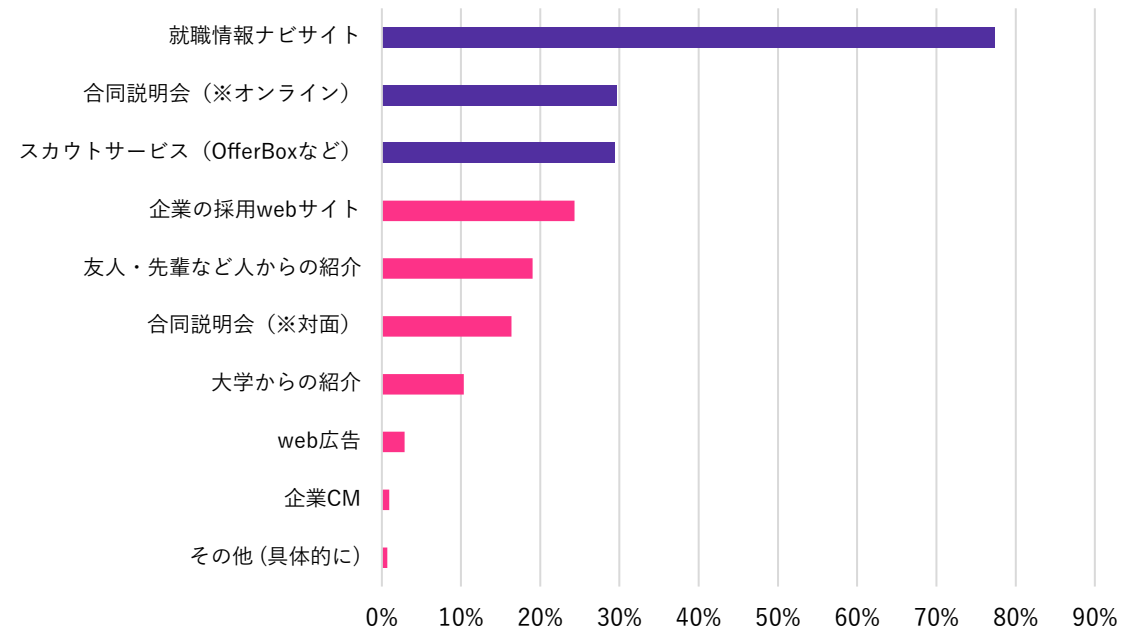
## インターンシップの探し方でスカウト型サービスが 対面合説よりも支持を得る結果に

ナビサイト以外のサービスを利用する学生も一定数見られる結果に。  
学生の情報収集の方法も多様化していると考えられる。

2022年6月～9月に参加したインターンシップを  
どのような方法で見つけましたか。※複数選択可



2022年12月～2023年2月の間で参加予定のインターンシップについて  
どのように企業を見つける予定ですか。※複数選択可



スカウト型サービスやオンライン合同説明会がナビサイトの次に利用されている結果に。  
それぞれの手法に合わせたPR手法が求められているのでは。

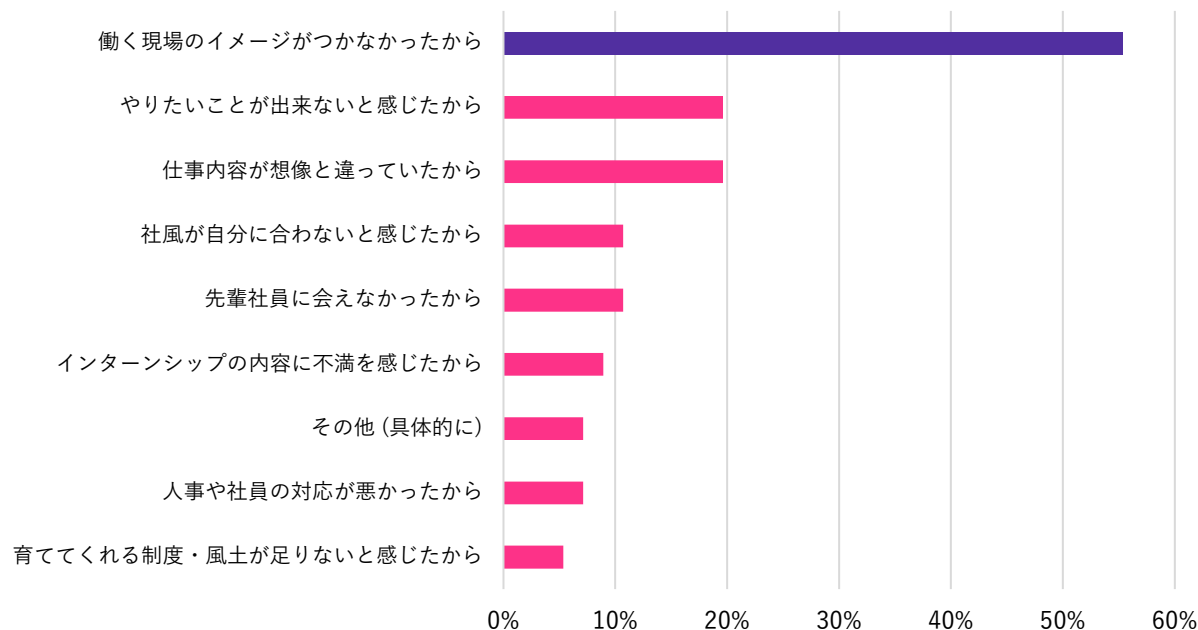
POINT

03

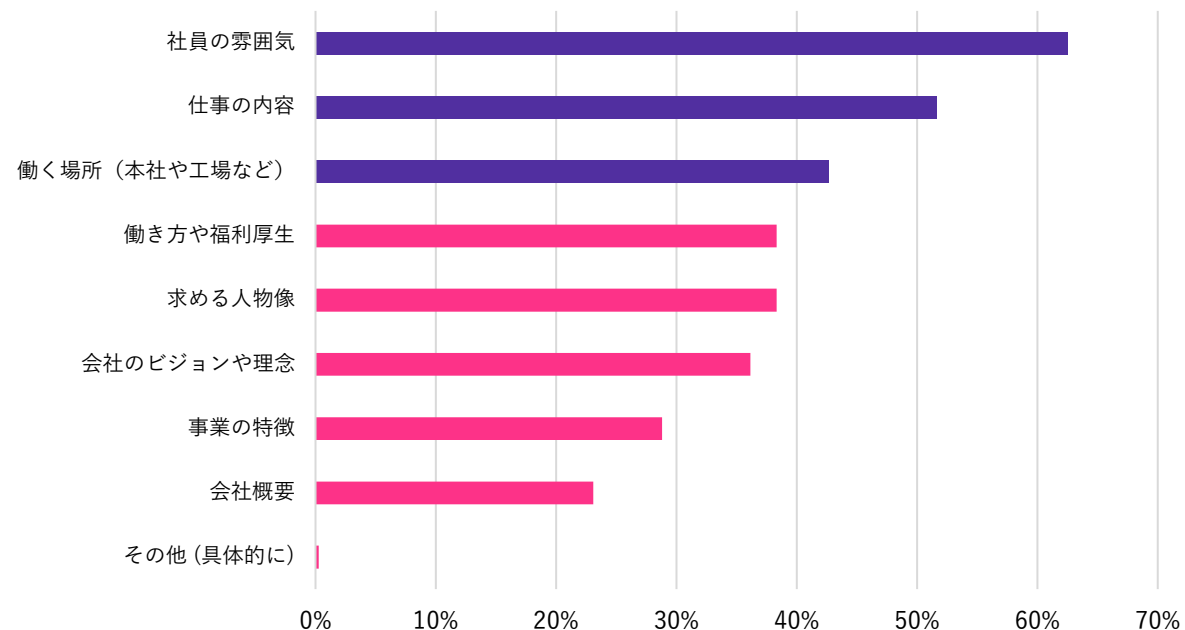
## インターンシップで志望度向上を左右するポイントは、働く現場のイメージがつくかどうか。

「働く現場のイメージ」はインターンシップにおいて訴求すべき重要なポイント。  
一度インターンシップに参加した企業については、社員の雰囲気などの情報をさらに深掘りする傾向に。

インターンシップに参加後、なぜ就職志望度が  
高まらなかったのか教えてください。※複数選択可



2022年6月～9月のインターンシップに参加してみて、  
今後知りたいことは何ですか。※複数選択可



インターンシップにおいては、働く現場のイメージについてのニーズが高いことが分かる。  
一方接点を持った学生に対しての今後のアプローチには、社風や働き方などプラスアルファの情報提供が有効か？

POINT

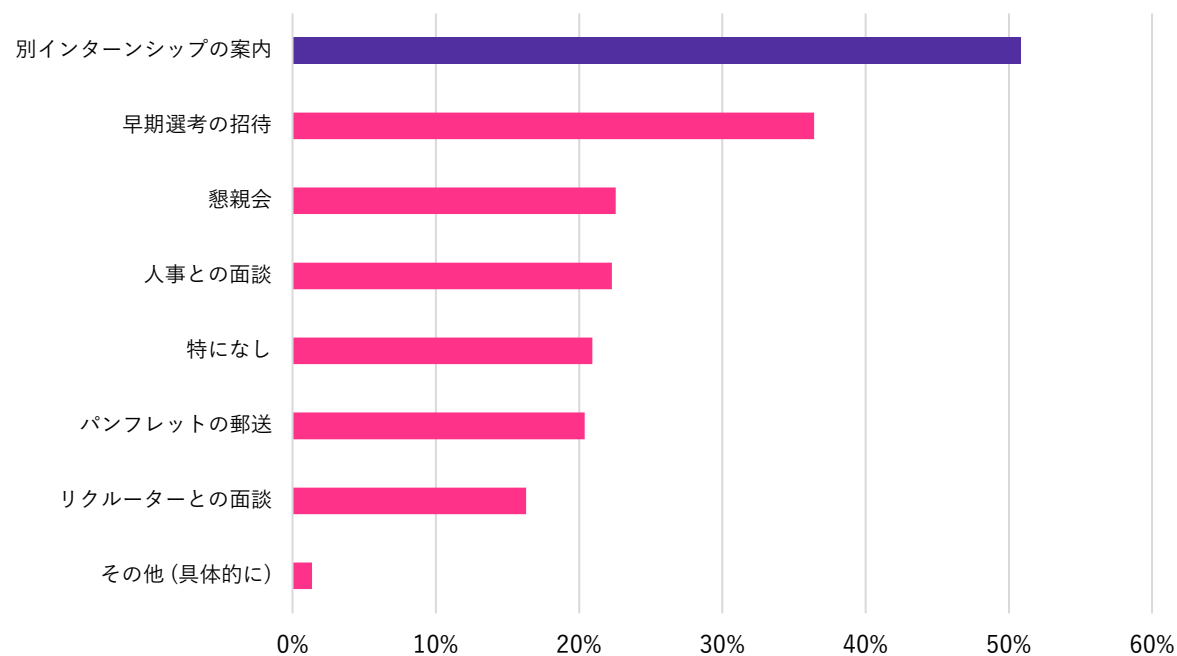
04

夏インターンシップ後の企業からのアクションとして、協力社員を巻き込み手厚くフォローを行なっている。

別インターンシップの案内と早期選考の招待が主なアクションに。

夏インターンシップで接点を持った学生のつなぎ止めを各社様々な手法で行っている。

2022年6月～9月のインターンシップ参加後、  
企業からどのようなアクションがありましたか。※複数選択可



学生と企業の初期接点であるインターンシップからのつながりを重要視している会社が多く、フォローの手法も多様化している。

その中で、「いかに志望度を下げずに学生との接点を持ち続けられるか」が今後の活動で求められる結果に。

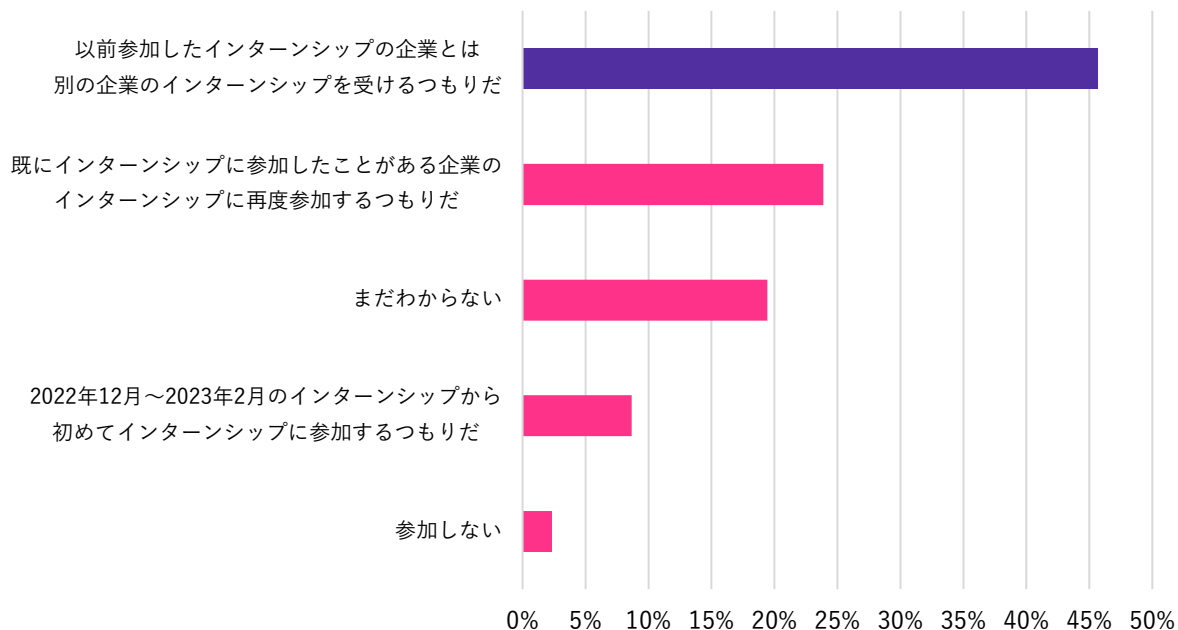
POINT

05

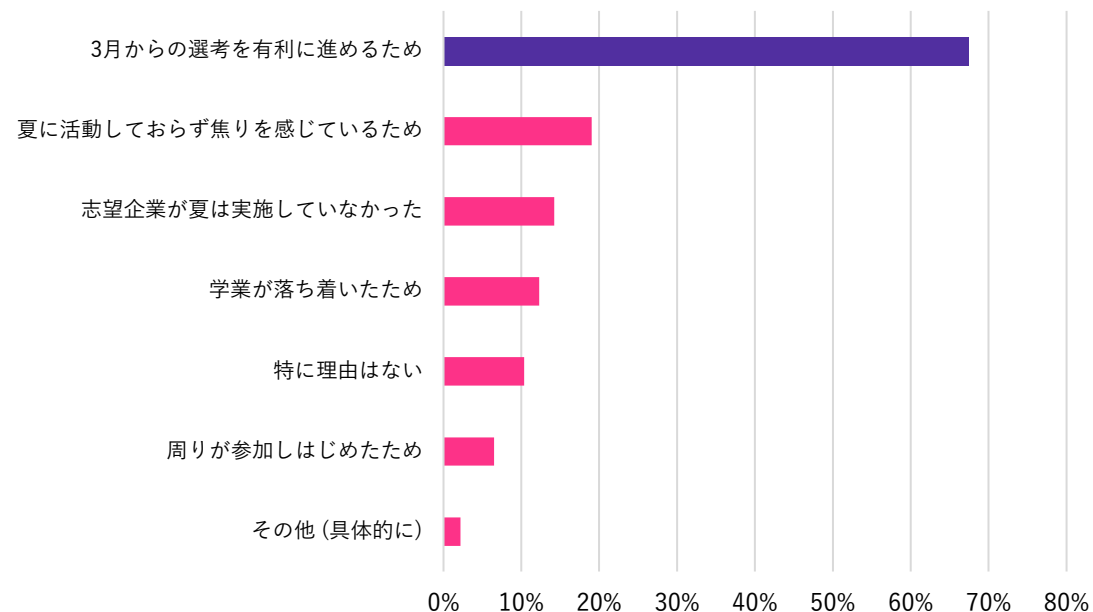
## 夏IS参加者も視野を狭めることなく活動する模様。 選考を意識した動きがさらに加速していく見込み。

12月以降もインターンシップの参加を望む学生が多数。  
選考を受ける企業の選択肢を広げるために、積極的な活動を行っていくと言える。

2022年12月～2023年2月に実施される  
インターンシップに参加する予定ですか。



なぜ2022年12月～2023年2月のインターンシップに  
参加するのか教えてください。※複数選択可



以前参加したインターンシップとは別の企業のインターンシップを受ける学生が多く、12月以降も企業研究を行う動きは継続する。  
一方、志望度の高い企業に対しては選考を有利に進めるために再度インターンシップに参加するという声も。



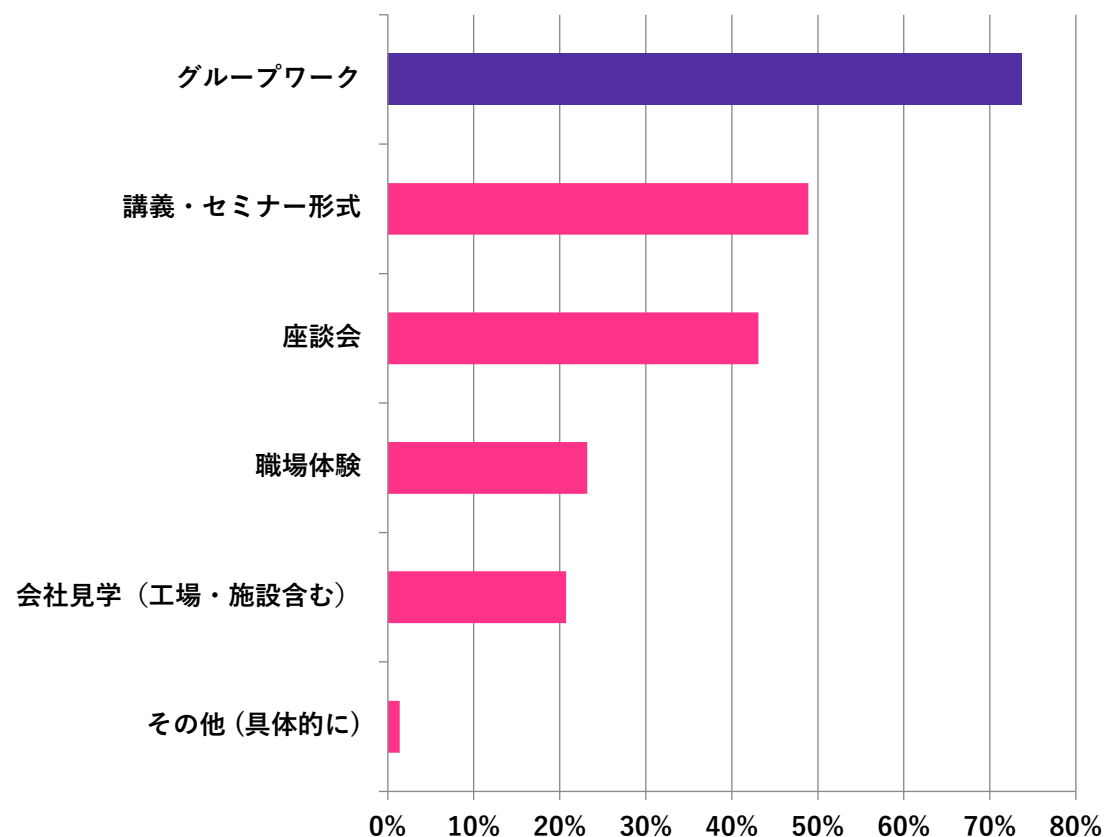


ご参考データ

# SUMMARY



「有意義だったインターンシップ」の形式を教えてください。 ※複数選択可



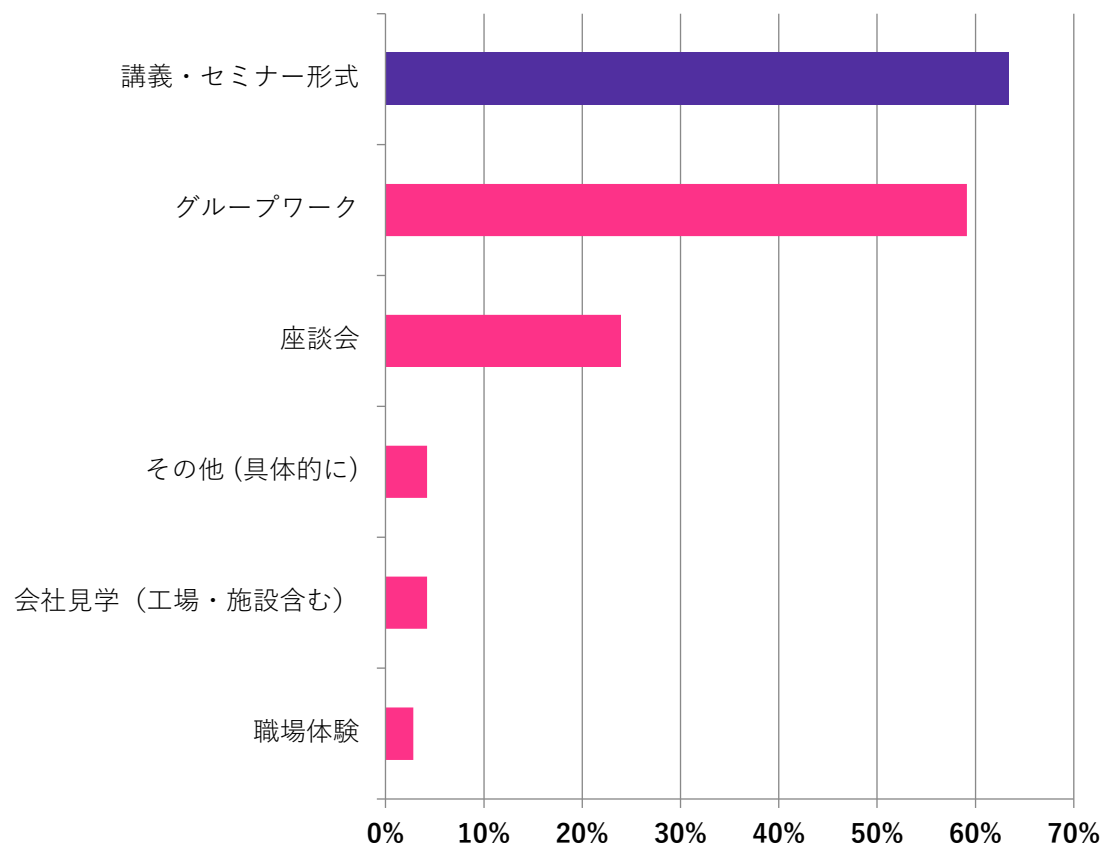
## ○ 有意義だった理由

- 5日間という期間や、グループワークではチーム戦形式で新しい業態を考え、プレゼン資料を作り、**代表の方々へ実際にプレゼンをするという貴重な経験**をさせていただいたから。
- メンターの人はずっとついてくれて丁寧なアドバイスをくれた。コンテンツが充実しており**優秀な学生と活動できた**のでとても有意義だった。
- 調べるだけではわからない実際の仕事を講義とグループワークで学ぶことができたから。さらに、座談会で10名以上の社員さんに質問することができたから。
- **社員や学生との交流機会が多いとともに、現場の雰囲気**を強く感じられた。
- **グループワークの質も高く**、社員との交流を通して企業の雰囲気なども深く知ることができたから。
- 具体的な設計業務を体験することができ、自分のキャリアプランを具体化できたため。
- 事前学習を行った全体のインターンシップだったため、**講義の時間が最低限で、その分グループワークを多く行うことができ、結果として業務内容の深い理解**に繋がったから。
- ホームページでは知ることのできない情報や実際の社員のお話を聞けたため。

# SUMMARY



「有意義でなかったインターンシップ」  
の形式を教えてください。 ※複数選択可



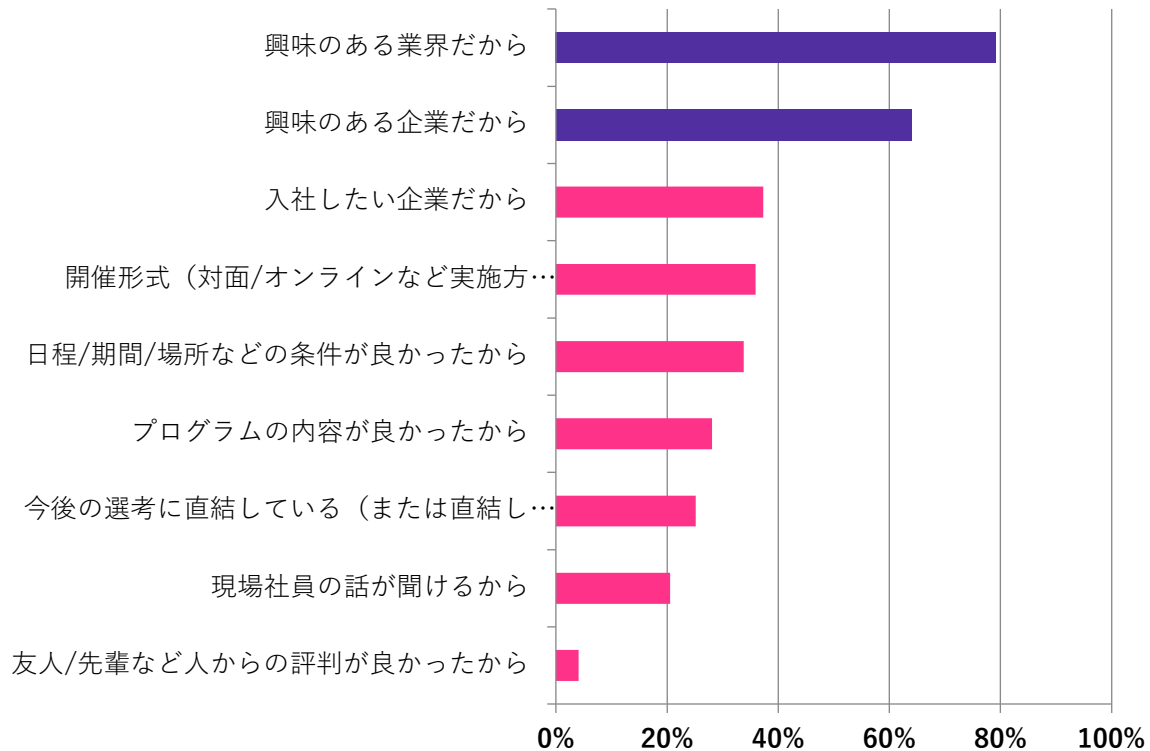
× 有意義でなかった理由

- 説明会以上の詳しい業務内容に関する説明がなく、参加したメリットをあまり感じられなかった。
- 一方的な説明が多い 座談会の時間はあるが時間が不十分。
- ほとんど説明会のようなもので、座談会も2つほどしか質問を取り上げてくれなかったため。
- 企業の方が長い時間一方的に話しているインターンシップは疲れるし集中力が欠け、飽きてしまう。
- グループワークの内容が薄すぎた。
- 平易な内容しかなく、加えてその企業の特徴が理解できる業務ではなかったため。
- 進行がぐだぐだ。学生が多すぎて運営が雑だった。
- ワークの内容が業務内容とかけ離れていた。
- 実業務体感型との題目のもと、ノウハウや社風の理解が不足したままグループワークを進行せざるを得なかったから。
- 参加していた学生によるものだが、二日間のグループワークだったにも関わらず全然発言してくれなかった。やる気が無い人が多かった。
- 人事の方がローテーションで、個人的にはあまり魅力を感じなかった。

# SUMMARY

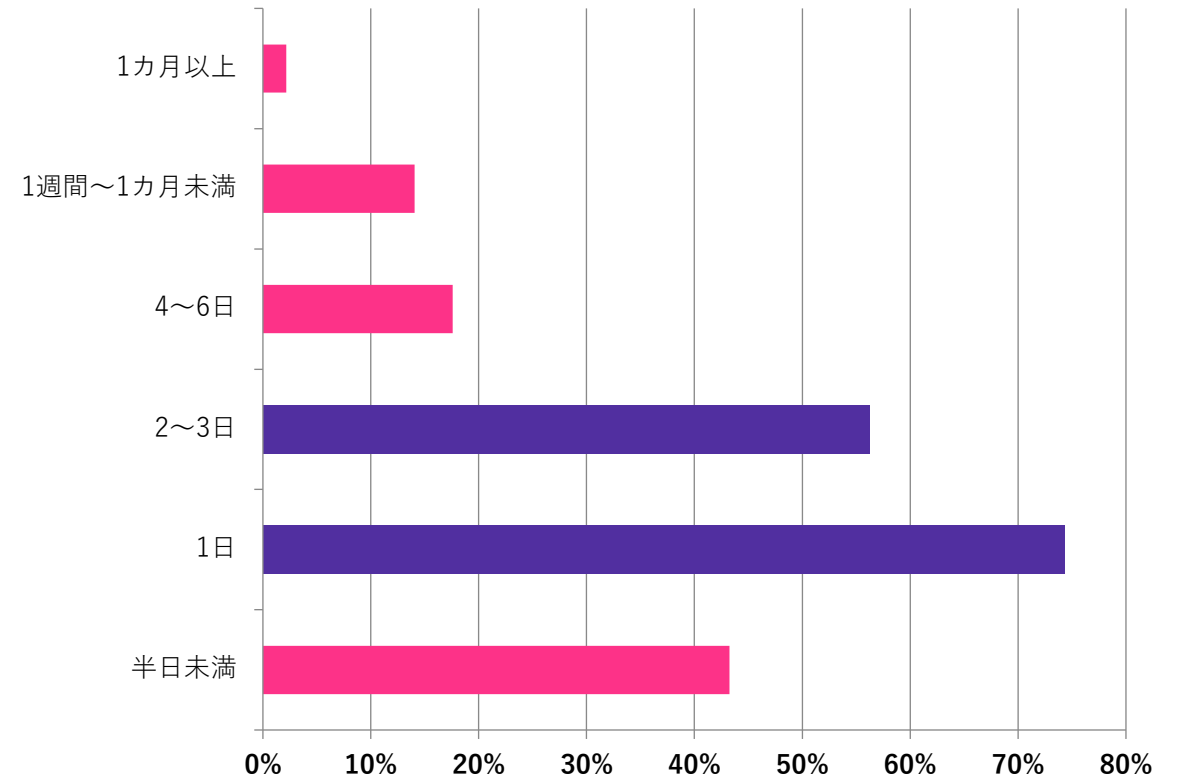
2022年6月～9月に参加したインターンシップの参加基準を教えてください。

※複数選択可



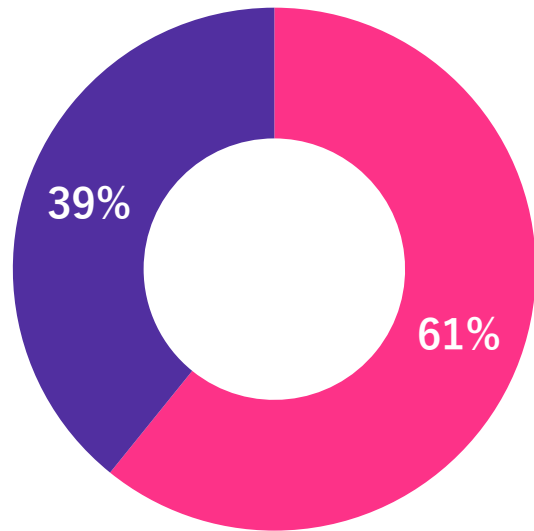
2022年6月～9月に参加したインターンシップの開催日数を教えてください。

※複数選択可



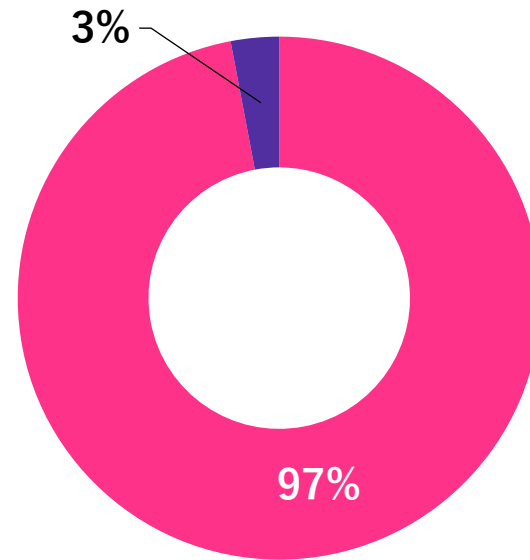
# SUMMARY

2022年6月～9月の間で、対面（企業本社など現場で実施のもの）のインターンシップに参加しましたか。（単一回答）



■ はい ■ いいえ

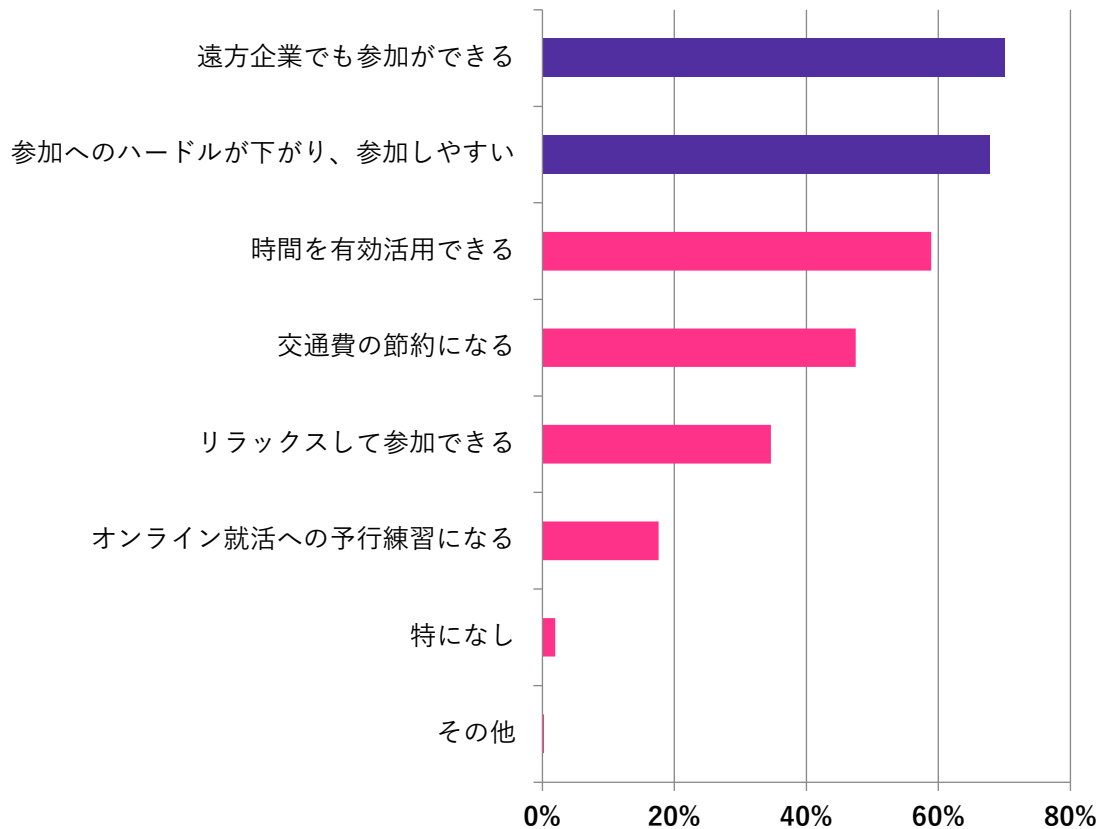
2022年6月～9月の間で、オンライン（インターネットでの参加）のインターンシップに参加しましたか。（単一回答）



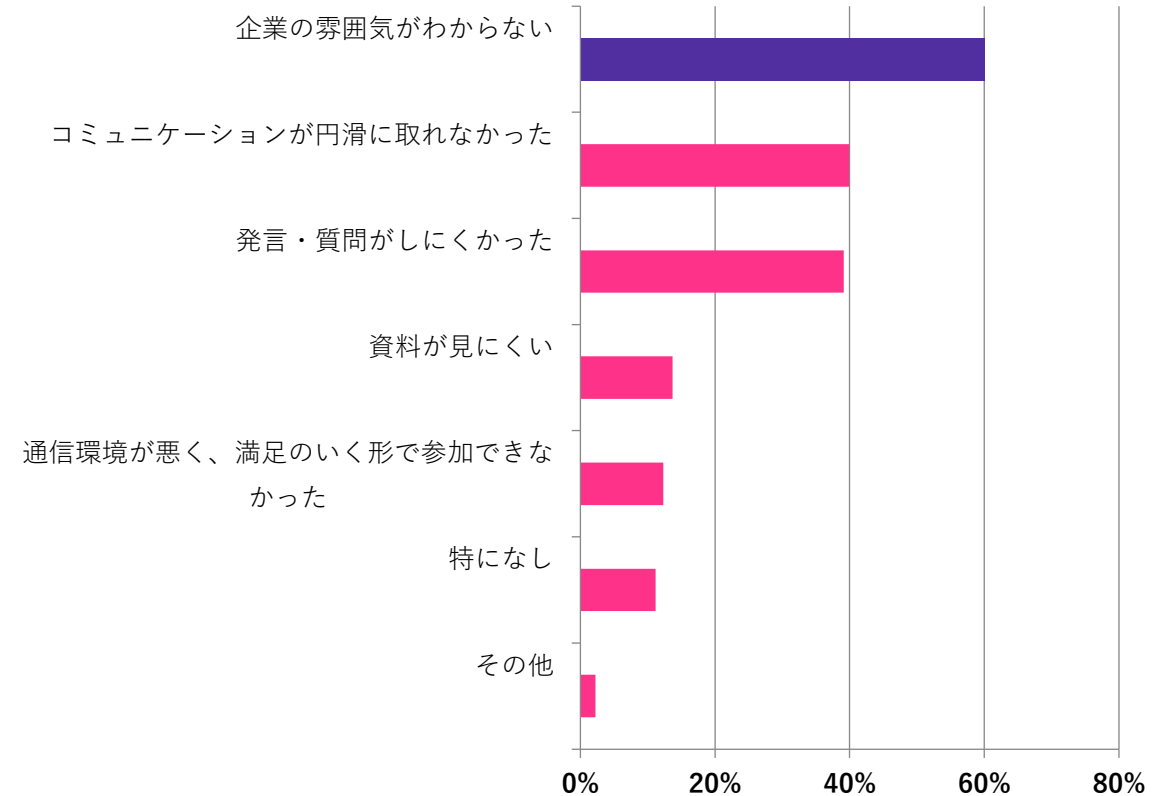
■ はい ■ いいえ

# SUMMARY

オンラインインターンシップの良かったところを教えてください。 ※複数選択可

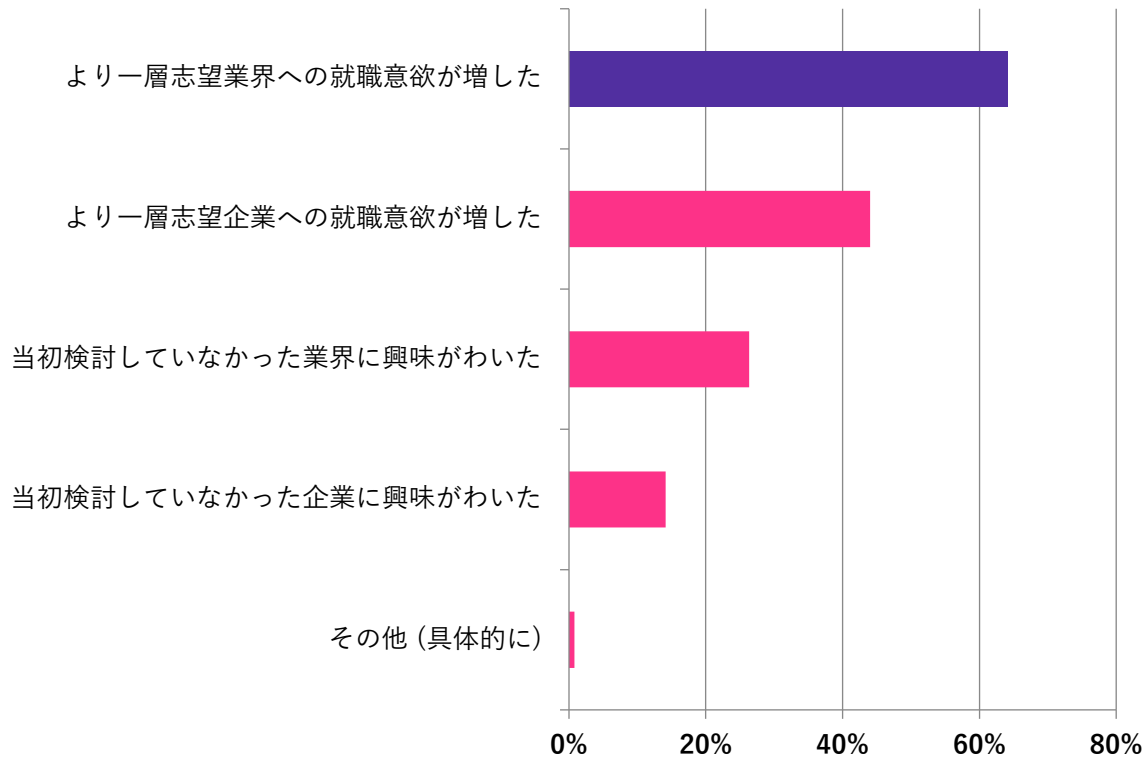


オンラインインターンシップの悪かったところを教えてください。 ※複数選択可

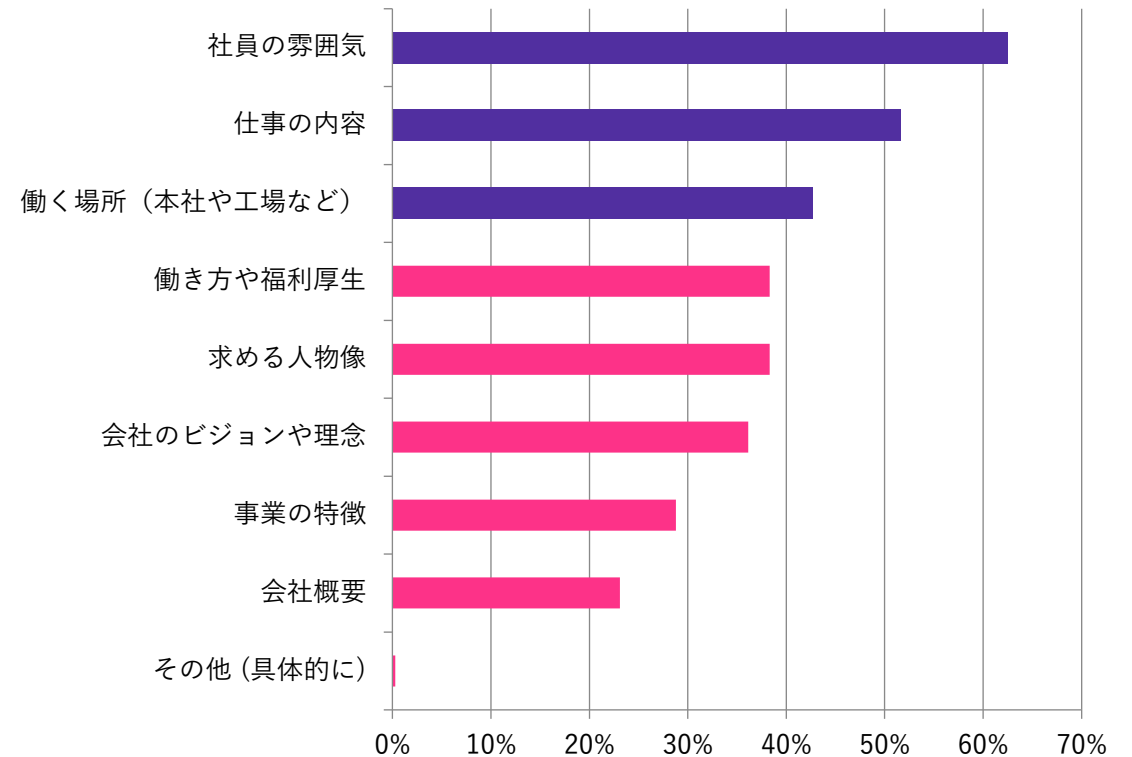


# SUMMARY

2022年6月～9月のインターンシップに参加してみて、志望業界や志望企業にどのような変化がありましたか。 ※複数選択可



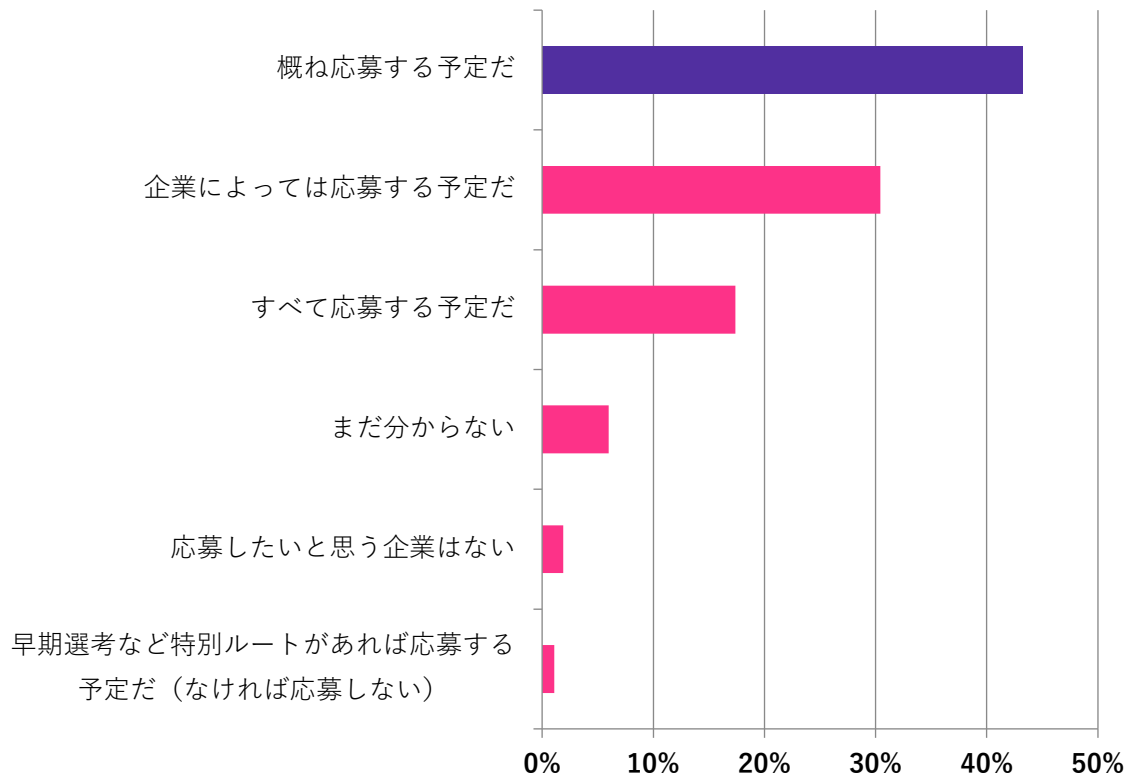
2022年6月～9月のインターンシップに参加してみて、今後知りたいことは何ですか。 ※複数選択可



# SUMMARY

2022年6月～9月のインターンシップに参加した企業の選考に応募する予定ですか。

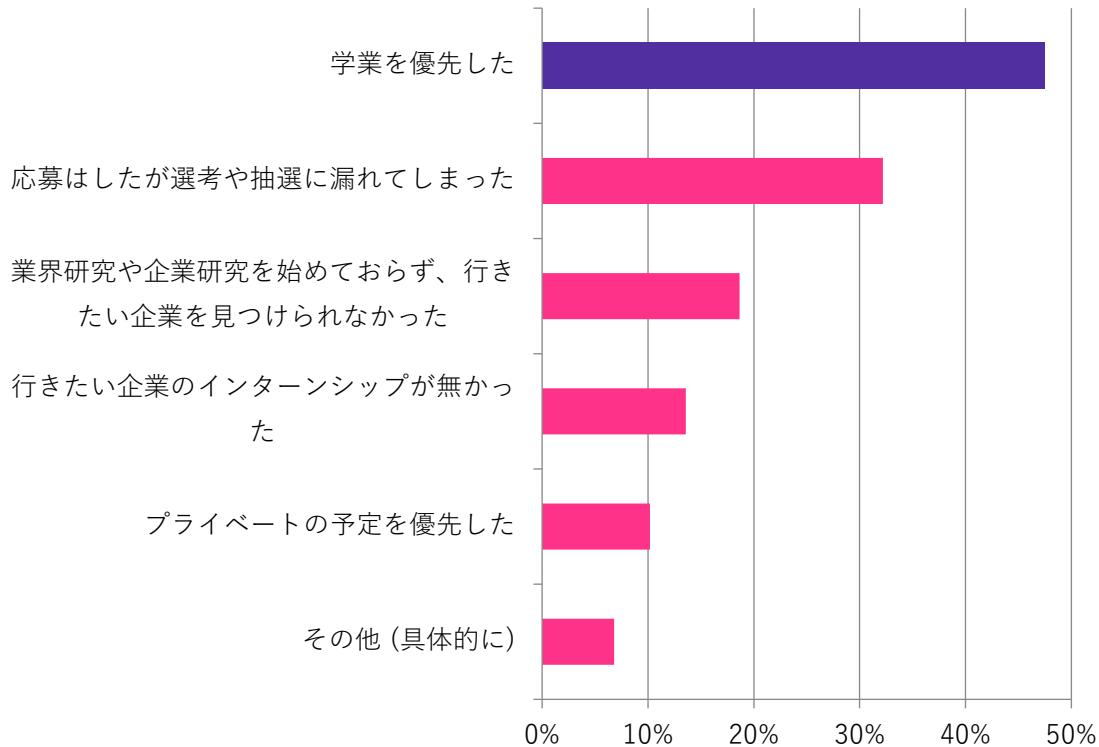
(単一回答)



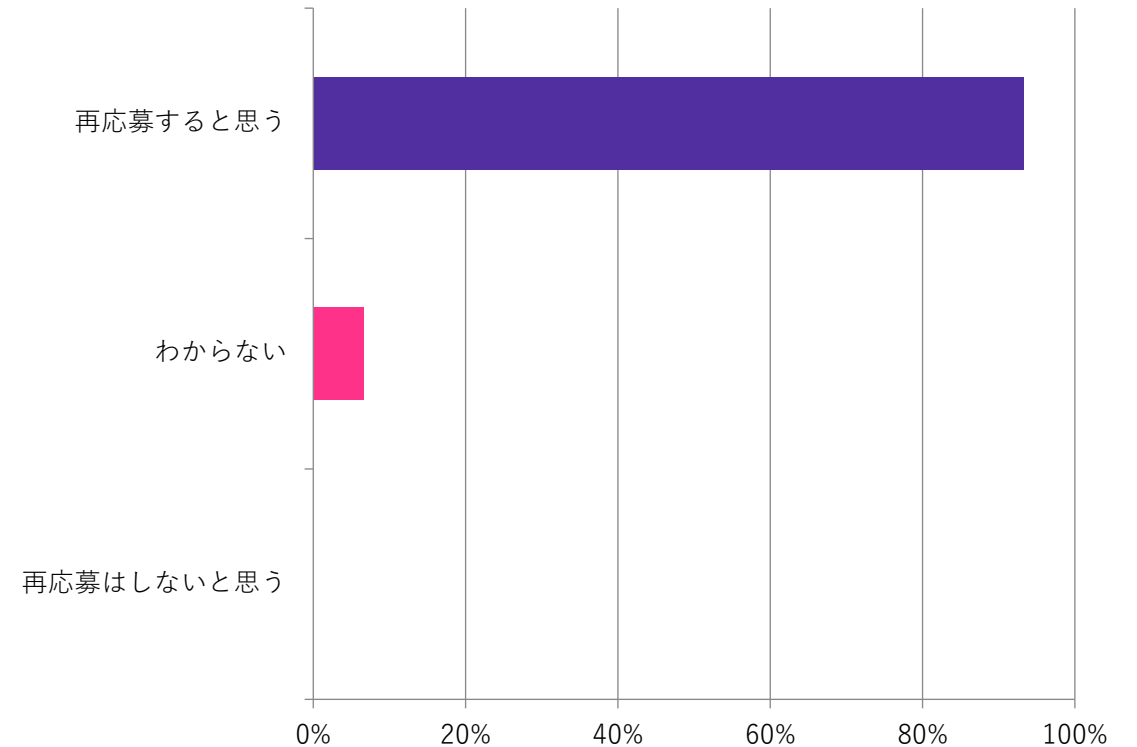


# SUMMARY

2022年6月～9月の間でインターンシップに参加しなかった理由を教えてください。 ※複数選択可

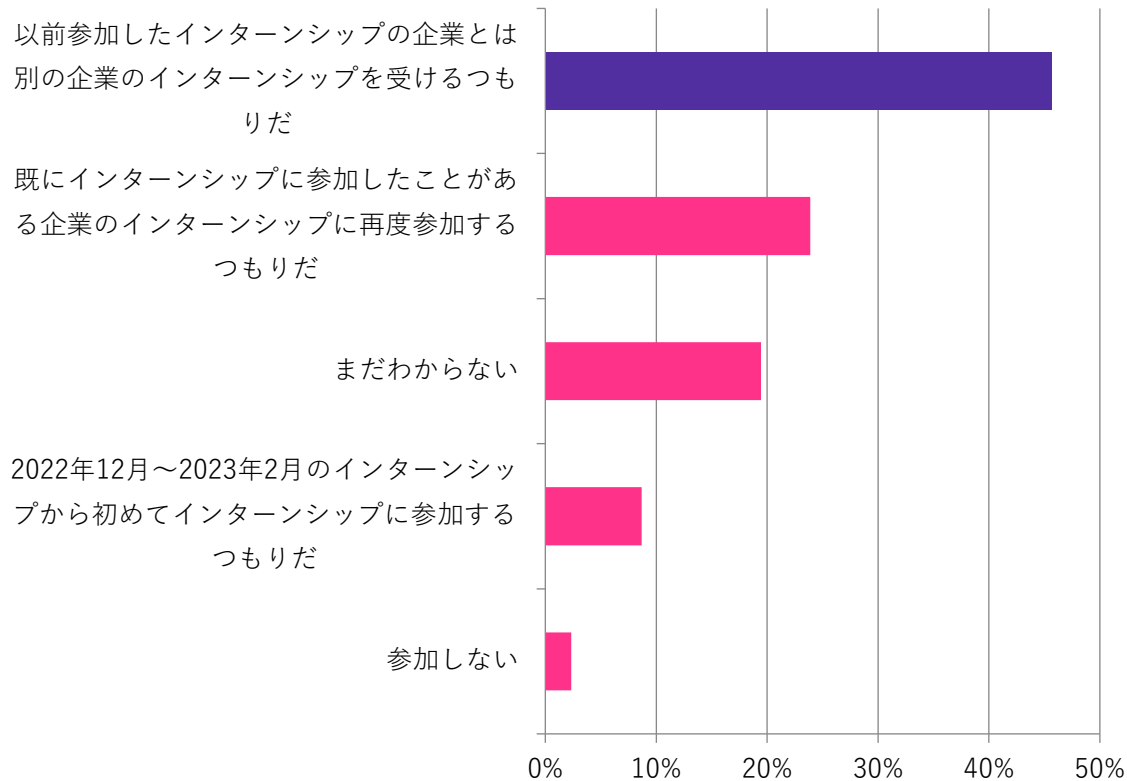


夏に応募したが参加できなかった企業のインターンシップが秋・冬の日程で開催される場合、再応募しますか。(単一回答)

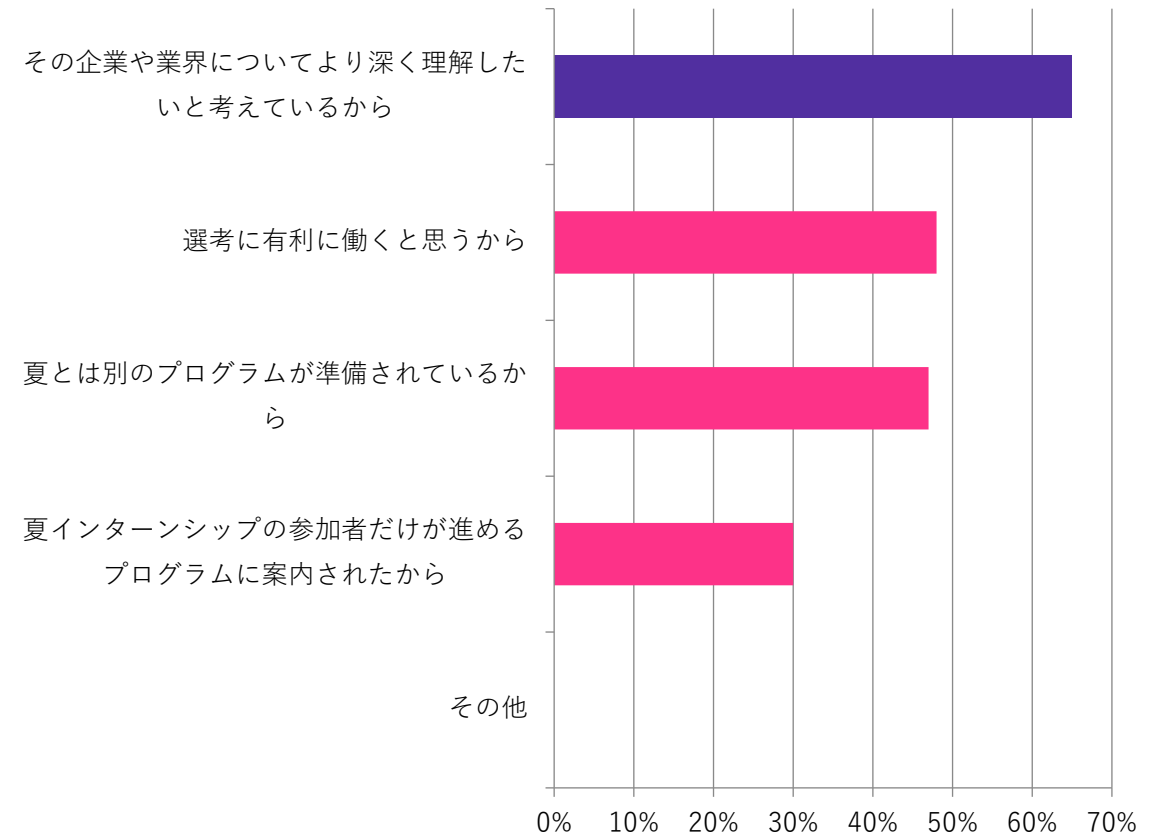


# SUMMARY

2022年12月～2023年2月に実施されるインターンシップに参加する予定ですか。  
(単一回答)

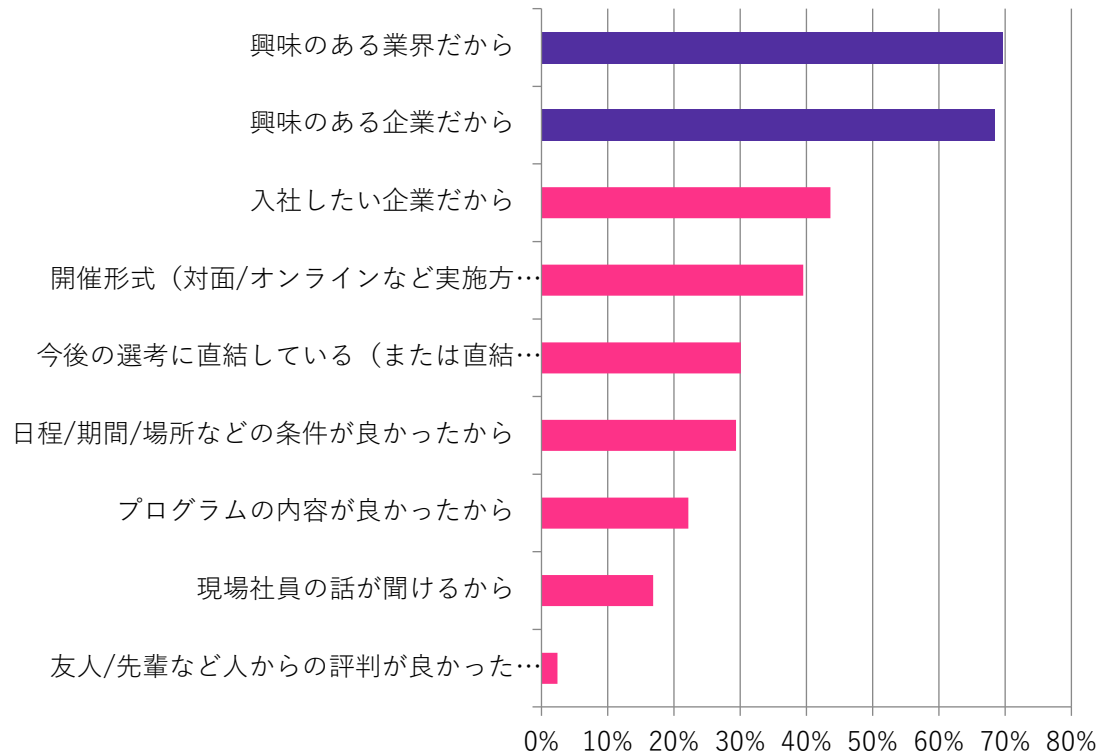


なぜ同じ企業のインターンシップに参加するのか教えてください。 ※複数選択可

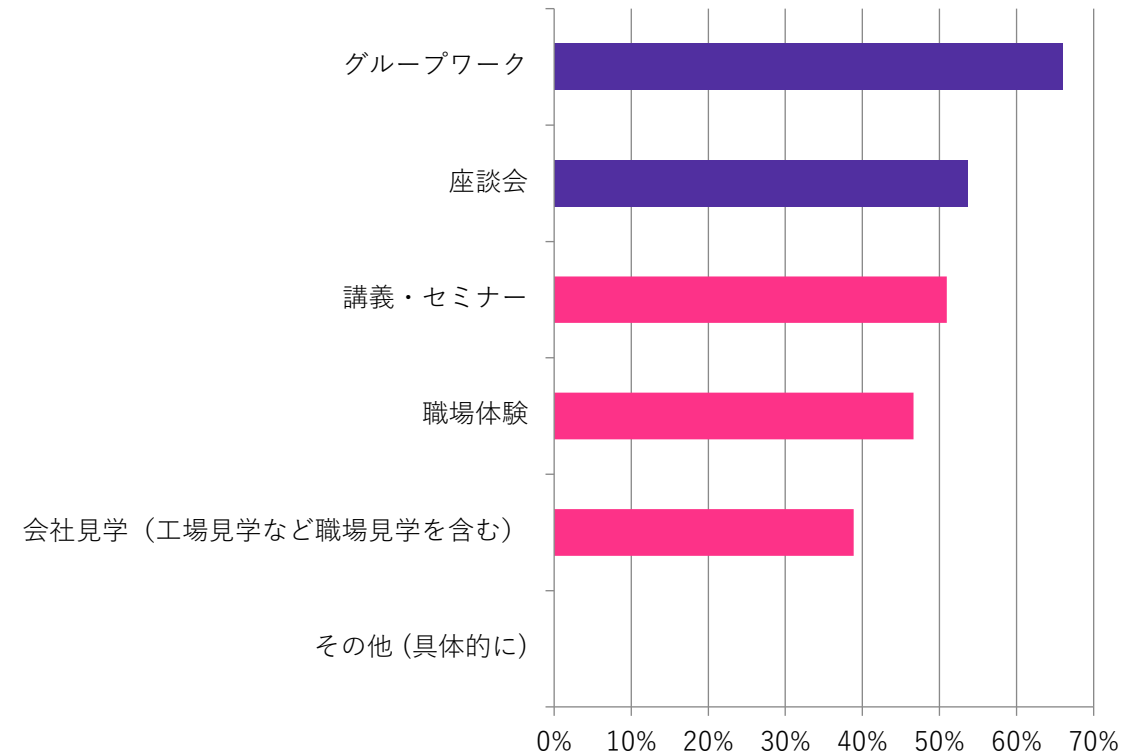


# SUMMARY

2022年12月～2023年2月の間で参加予定のインターンシップについて選ぶ基準を教えてください。 ※複数選択可

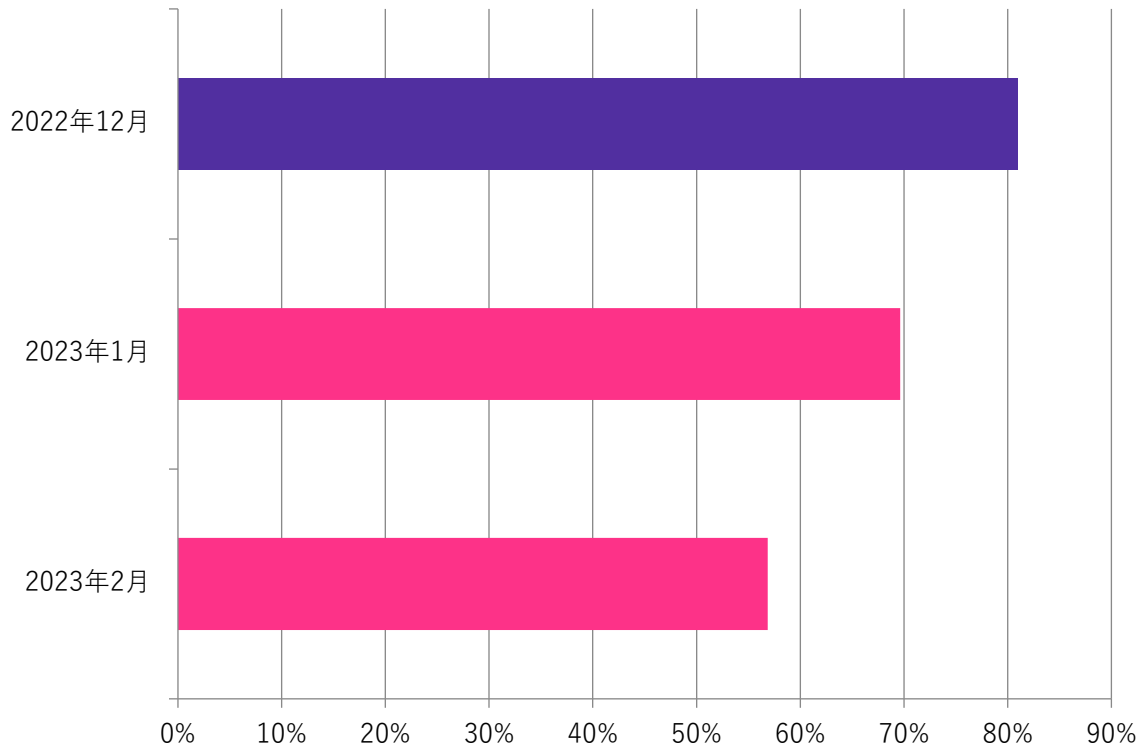


2022年12月～2023年2月の間に開催されるインターンシップについて、希望する内容を教えてください。 ※複数選択可

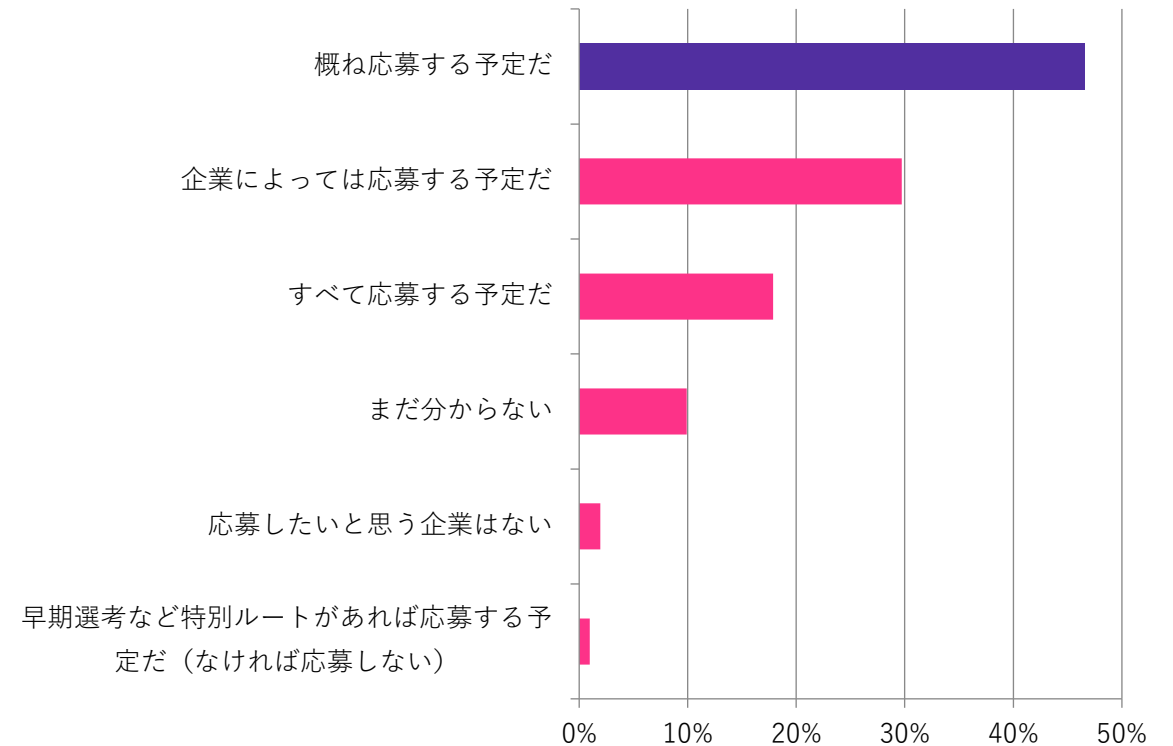


# SUMMARY

2022年12月～2023年2月の間で、希望するインターンシップの開催時期を教えてください。 ※複数選択可



2022年12月～2023年2月の間で実施予定のインターンシップに参加後、参加した会社の選考に進む予定ですか。



# SUMMARY

就職活動がオンラインであることに対して  
懸念していることは何ですか。 ※複数選択可

